

(平成29年 12月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水産物全般	<p>12月は、需要が増加する年末に天候が荒れた影響や、たら、さけなどの魚種で漁獲量が減少したことなどから、水産物の総入荷量は、前年同月と比べ、鮮魚、冷凍魚、加工水産物ともに総じて減少し、全体で13%下回った。</p> <p>総取扱金額は、前年同月と比べ、加工水産物は上回ったが、鮮魚、冷凍魚が下回ったことから、全体として3%下回った。</p> <p>日本海西部海域で操業しているずわいがに漁は、12月末でせこがに（ずわいがにメス）が禁漁となり、丸かに（ずわいがにオス）は3月20日で禁漁となる。</p> <p>1月は、年末の需要増加による値上がり落ち着き、今後の水揚げ状況にもよるが、値下がりする魚種も出てくると思われる。</p>
(区分別の動向) 鮮 魚	<p>12月の鮮魚の入荷量は、前年同月と比べ8%下回り、単価は3%上回った。</p> <p>品目別には、まだい（天然）、けんさきいかの入荷量は上回り、単価は下回った。ぶり、たらの入荷量は下回り、単価は上回った。</p> <p>1月は、寒さが増し、あんこうの肝、たら・ふぐの白子などが一年の中で最も脂が乗って美味しくなるので、身の部分と一緒に鍋料理で御賞味いただきたい。また、安定入荷が続く、値下がりしている養殖ふぐは、刺身、揚げ物、鍋など様々な料理に合うので、色々な食べ方を試していただきたい。</p>
冷 凍 魚	<p>12月の冷凍魚の入荷量は、前年同月と比べ12%下回り、単価は8%上回った。</p> <p>品目別には、冷ますは輸入物が値下がりしたことから単価が下回り、入荷量は上回った。冷さけ、冷えびは単価が上回ったことから、国内需要が低下し、入荷量は下回った。</p> <p>1月は、引き続き海外における需要が多いため、前年を上回る価格が続くと見込まれる。</p>

加工水産物	<p>12月の加工水産物の入荷量は、前年同月と比べ21%下回り、単価は31%上回った。</p> <p>品目別には、開干あじの入荷量は上回り、単価は下回った。銀さけ、ゆでせこがには入荷量が下回り、単価は上回った。</p> <p>正月商材である塩さけ、いくらが原料不足により製品価格が値上がりし、入荷が下回った。ちりめんは、水揚げが減少し、大幅に値上がりしたが、需要が多く、入荷は前年並みとなった。</p> <p>1月は、節分に向けて塩いわしの取引が活発となり、原料となるいわしの水揚げが順調だったことから、前年より値下がりしている。塩いわしは、脂の乗った時期に水揚げしたものを加工しており、そのまま焼くだけで美味しくいただけるので、節分の日以外でも御賞味いただきたい。</p>
-------	---

※鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

品 目	市 況 の 概 要
(鮮魚主要品目)	
ま あ じ	長崎,愛媛で水揚げされたものが主体となる入荷で,入荷量は前年同月と比べ11%上回ったが,脂の乗った養殖物が増加したことから,単価は3%上回った。
ま い わ し	愛知,三重で水揚げされたものが主体となる入荷で,入荷量は前年同月と比べ20%上回り,単価は22%下回った。
さ ば	千葉,韓国で水揚げされたものが主体となる入荷で,入荷量は前年同月と比べ32%上回ったが,大型物が増加したことから,単価は前年並みであった。
す る め い か	石川,富山で水揚げされたものが主体となる入荷で,入荷量は前年同月と比べ137%上回り,単価は17%下回った。
太 物	入荷量は前年同月と比べ11%下回ったが,養殖物のくろまぐろが順調に入荷したため,単価は前年並みであった。
ぶ り	鹿児島,長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で,入荷量は前年同月と比べ9%下回り,単価は9%上回った。
は ま ぐ り	中国,三重で水揚げされたものが主体となる入荷で,入荷量は前年同月と比べ8%下回ったが,大型物を中心に入荷が少なく,単価は前年並みであった。

(冷凍魚主要品目)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月並みであったが、大型物を中心に入荷が少なく、単価は4%上回った。
冷 する め い か	入荷量は前年同月と比べ19%上回り、単価は22%下回った。
(加工水産物主要品目)	
塩 さ け	入荷量は前年同月と比べ6%下回り、単価は14%上回った。
す け そ う こ	入荷量は前年同月と比べ3%下回ったが、贈答用の需要が減少したため、単価は前年並みであった。